

福井県里山里海湖研究所年報 2023

Fukui Prefectural Satoyama-Satoumi Research Institute
Annual Report 2023

令和5年6月

福井県里山里海湖研究所

目 次

1	令和4年度事業概要および令和5年度事業計画	1
2	令和4年度事業報告	
	(1) 研究	3
	(2) 教育・普及	4
	(3) 実践	7
3	主なイベント詳細報告	
	(1) 里山里海湖フォーラム	20
	(2) 企画展の開催	21
4	研究員の活動	
	(1) 研究の概要	23
	(2) 学会発表・執筆活動 等	29
	(3) その他活動報告	31
5	研究所資料	
	(1) 沿革	34
	(2) 組織	34
	(3) 活動方針	35
	(4) 福井県里山里海湖研究所 三方五湖自然観察棟	38
	(5) 福井県年縞博物館	40

ごあいさつ

このたび、2022年度の活動概要と2023年度の活動計画を「福井県里山里海湖研究所年報2023」としてまとめました。

おかげさまで、2013年10月開設の福井県里山里海湖研究所も、本年10月には10周年を迎えることができました。県民の皆さまのご理解ご協力とご参加に心より感謝申し上げます。

本研究所は1992年地球サミット以来の世界的課題の「生物多様性」への全県的取組拠点として設置されましたが、名古屋市開催の生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）で標榜されたSATOYAMAinitiativeにもとづき福井県土の里山里海里湖里川などの保全再生活用のための研究と普及、県民参画に取り組んできました。さらには、ダイバーシティの世紀の持続的発展のためには、多面的多様性の重要性を踏まえ、「生物多様性」「生活多様性」「経済多様性」「景観多様性」など4つの多様性を育むことで福井県土と地域社会の元気を目標に「研究」「教育・普及」「実践」を3つの柱として活動してまいりました。

「研究」においては、環境考古、保全生態、森里川海連環、里地里山文化を視野に入れ、三方五湖、北潟湖はじめ福井県土の地域課題の解決に向けた研究を行い、研究成果、さらには里山ビジネスが里山里海湖資源を活用した経済活動に結びつけるなど、地域活性化に寄与してまいりました。

「教育・普及」においては、福井ふるさと学びの森・海湖活動団体を増強し、また、里山里海湖学校教育プログラムなど環境教育とふるさと教育を推め、里山里海湖の恵みに触れる機会を提供してきました。「実践」活動においては、ふるさと研究員の派遣、里山整備のための資機材貸出しなど、里山里海湖を保全再生する団体活動等を支援、活動意欲の向上に努めてきました。

以上の研究、教育・普及、実践活動等の取組成果を踏まえ、活動の担い手確保、育成、里の恵みを利用した生業の確立、鳥獣の生息域拡大による鳥獣被害の深刻化など新たな課題にも対応し、県民のご意見を反映させながら、里山里海湖の保全、再生、活用を県民や企業など多様な主体との協働を、今後とも進めてまいります。

当研究所は、science for society（社会のための科学）、さらにはscience for policy（施策と行動のための科学）を視野に入れ、「福井県の持続可能性」を高める方向で今後とも研究所の運営に当たってまいります。これからも県民の皆さま、NPO、企業団体、行政や教育機関など多様な主体のご参加の下、研究所活動を展開してまいりますので、皆さまの「ご理解」「ご参加」「ご協働」「ご支援」をお願いいたします。

福井県里山里海湖研究所長／農学博士
進士 五十八

1 令和4年度事業概要および令和5年度事業計画

1 研究

- ・福井県の里山里海湖の価値を科学的に解明
- ・国内外の大学や試験研究機関と連携を強化
- ・福井県の里山里海湖フィールドに研究者・学生を受け入れ、福井県の地位を高める。

活動名	活動概要	実績・計画	
		4年度実績	5年度計画
研究活動	環境考古、保全生態、森里川海連環、里地里山文化の4分野において地域に貢献する実学研究を推進	研究成果の社会実装 県内自然再生協議会等への参加	継続実施
研究活動の発表	研究員が行った研究活動を積極的に学会や県民に発信	学会等で発表4件 研究発表会等1件 企画展2回	継続実施
県外研究者・学生等の受け入れ支援	県外大学等とのパイプを構築し、本県の里山里海湖のフィールドを提供、調査・研究を行う研究者・学生を受け入れ	研究者・学生受入 11名	継続実施

2 教育・普及

- ・保育園、小学校、中学校と連携した次世代の人材育成
- ・身近な生き物や季節の移ろいを感じ取れる子どもを育成

活動名	活動概要	実績・計画	
		4年度実績	5年度計画
里山里海湖学校教育プログラムの活用	学校の校外学習における里山里海湖体験活動の指導者用教材を作成し、県内の全小中学校に配布、授業等で活用	北潟湖・六呂師高原 周辺体験編を改訂 既存プログラムに 延べ381校・団体 15,362名参加	内容の拡充および活用促進
里山里海湖出前講座	研究員等が積極的に地域に赴き、出前講座を開催	出前講座11回実施 448名受講	継続実施

3 実践

- ・県民に身近な体験フィールドを設け、自然再生団体、地域住民と協働し、研究、教育・普及、実践を行う。
- ・活動者のやる気を育み、活動を支援することで、里山里海湖を次世代へ継承する。

活動名	活動概要	実績・計画	
		4年度実績	5年度計画
福井ふるさと学びの森ネットワーク (登録団体運営)	自然体験、自然観察、自然再生活動ができる里山を「福井ふるさと学びの森」として登録し、県民が気軽に里山に触れ、親しみ、学ぶ機会を提供	先進的・挑戦的活動、新規登録団体への支援 1件 登録 36 団体が体験イベント等開催 326 回開催 イベント広報支援	イベント継続実施
福井ふるさと学びの海湖	ふるさと学びの森に加え、里海湖での体験活動を行う団体・場所を「学びの海湖」として登録、県民が自然に触れ親しみ、学ぶ機会を提供	登録 5 団体が体験イベント等開催 132 回開催 イベント広報支援	イベント継続実施
ふくい里山里海湖活動表彰	里山里海湖の保全・再生・活用に関する優れた活動団体等を表彰	3 件 (3 団体) を表彰	継続実施
ふるさと研究員認定	里山里海湖にまつわる知恵や技を持つ県民をふるさと研究員に認定し、知恵の伝承や活動団体への派遣による支援	合計 46 名 延べ 51 回派遣	認定・派遣継続実施
自然再生活動用資機材の貸出し	自然再生活動を支援するため、ウッドチップパー、薪割り機等を無償貸出し	福井地区、丹南地区、嶺南地区の 3 か所で貸出し 延べ 58 回貸出し	継続実施
三方湖のヒシ対策	研究員の開発した効果的なヒシ対策手法を実践展開	刈取り面積 64ha	自然環境課・若狭町にて、計画を見直して実施
里山里海湖研究所来所者向け体験講座	里山里海湖の伝統的な人の営みを学ぶ体験講座を実施	自然観察棟および周辺施設を活かした特別企画 4 回実施	特別企画 4 回

2 令和4年度事業報告

(1) 研究【地域に貢献する実学研究 : Science for society】

里山里海湖に関する研究者が、生物多様性を守り、その恵みを人々の暮らしに結び付ける様々な研究を行う。

①実学研究の推進

□研究分野

研究分野	研究内容	研究者
環境考古	過去の気候と人の暮らしの関わり合いを解明するとともに、年縞を基にした研究成果を観光や教育に活用	—
保全生態	里山の保全・再生に関わる保全生態学的研究を行い、研究成果に基づき地域住民との共働による自然再生と利用を推進	石井 潤
森里川海連環	汽水域の環境とそこに棲む生き物の関係を明らかにし、里山里海湖の保全・再生に取り組む人々の活動に還元	宮本 康
里地里山文化	里に伝わる伝統、文化、習俗等を研究・活用し、これからの地域活動等を活性化	樋口 潤一

※研究活動の詳細は「4 研究員の活動」(P 23～)を参照

②研究内容や活動の情報発信

□学会、研究会での発表

令和4年度実績：4件（口頭発表3件、ポスター発表1件）
9月 3日～ 4日 2022年日本プランクトン学会・
日本ベントス学会合同大会（口頭発表）
12月 4日 日本民具学会研究発表会（対面口頭発表）
2月 14日 シジミ資源研究会（口頭発表）
3月 17日～21日 第70回日本生態学会（ポスター発表）

□研究発表会、報告会の開催

令和4年度実績：1件
2月 18日 里山里海湖フォーラム2023（福井市）
※オンラインでも配信

□研究成果を活かした企画展の開催

令和4年度実績：2回
5月 12日～7月 19日 寛文地震と浦見川
6月 23日～7月 26日 寒ぶな缶ができるまで



里山里海湖フォーラム2023

③調査・研究フィールドのメッカに

□研究者・学生への支援

県外大学等とのパイプを構築し、福井県の里山里海湖のフィールドを提供し、調査・研究を行う研究者・学生を受入れ

令和4年度実績：延べ 5大学・2機関、11名

(2) 教育・普及【里山里海湖を「体感」し、感性を育む】

里山里海湖の自然を子どもたちに体感させ、その大切さを伝えるとともに、地域の保全・再生活動を担うリーダーを育成する。

④地域資源を活かした環境教育

□「里山里海湖学校教育プログラム」作成

子どもたちが里山里海湖の自然を体感し、学習するため、小学校および中学校の教員が児童生徒を指導するためのプログラムを作成

環境教育を系統立てて学習ができるよう、現場の教員にも作成、編集にご協力いただきながら、学校での年間指導計画の中に位置付けられるような形で編成

小中学校の教員が「里山里海湖とは何か」、「里山里海湖でどんな活動ができるのか」、「学習指導要領や教科書との関連はどうか」を知ることができる手引書として活用

令和4年度実績：令和5年3月 北潟湖周辺、六呂師高原周辺体験プログラムの改訂



□「里山里海湖学校教育プログラム」による受入れ

平成26年度から配布している「里山里海湖学校教育プログラム」に基づき、自然体験や里山里海湖資源を活用した体験を行う学校等を受入れ

令和4年度実績：延べ 381校・団体 15,362名の児童・生徒等が体験

○三方五湖周辺体験編

施設名	プログラム名	主な内容
福井県里山里海湖研究所 (自然観察棟を含む)	どんぐりアート	里山のどんぐりやまつぼっくりで人形を作る
	野鳥観察をしよう (三方湖畔の自然観察)	三方湖畔を散策し、生きものを観察する
福井県海浜自然センター	ビーチクラフト	里海湖に流れ着いた廃材を利用した工作
	プランクトン観察	里海湖の生き物 (プランクトン) を観察
	イカや魚の解剖実験	里海湖の魚を解剖し、魚の食べ物を知る
福井県立三方青年の家	館内見学 (ラムサール条約登録湿地)	若狭湾や三方五湖に関する館内展示の見学・体験
	ゴムボート体験	ゴムボートで鱒川、三方湖を体感
若狭三方縄文博物館	行方久兵衛と浦見運河～石工体験～	里を開拓するための体験をする
	若狭三方縄文博物館の見学	若狭三方縄文博物館を見学する
福井県年縞博物館	「水月湖年縞」講義	年縞についての講義を聞き理解を深める
	福井県年縞博物館の見学	年縞堆積物の実物展示を見て理解を深める
福井県園芸体験施設 園芸 LABO の丘	ミッション「緑の油田」を採掘しよう	ヒマワリの種から油を搾る
	冷凍ウメでシロップづくり	梅の活用法 (加工) について体験する

令和4年度実績：延べ34校・団体 1,508名

○北潟湖周辺体験編

施設名	プログラム名	主な内容
福井県立芦原青年の家	花炭をつくろう	松ぼっくりなどを炭化させ、炭をつくる
	リサイクル紙漉き	牛乳パックを原料として紙をつくる
	野鳥観察	冬に北潟湖に飛来する野鳥を観察する
	いかだづくり	竹でいかだを作る
	和凧づくり	伝統的な角凧を作る
	森林教室※	森の素材を使ってクラフト作りを体験する

令和4年度実績：延べ 0校 0名 ※令和4年度より芦原青年の家で対応

○六呂師高原周辺体験編

施設名	プログラム名	主な内容
福井県立 奥越高原青少年自然の家	ネイチャークラフト	自然の中から材料を集め、壁掛けなどを作る
	バードコール	枝を使って音を出す器具を作る
	アドベンチャーワールド	自然の中で、五感をつかって課題を解く
福井県自然保護センター	自然観察の森ガイド	ガイドの案内により、自然観察をする
	花から実へ	さまざまな花と実、受粉の仕方を知る
	森林とわたしたちの暮らし	雑木林で、人と生物の関係を学ぶ
	いろいろな植物の種子の運ばれ方	様々な種子散布様式を観察する
	「伏石（ぶくいし）」の正体を調べよう	「伏石」の調査や地形の観察をする
	冬の野鳥観察	エサ台に来る野鳥の観察をする
日本一きれいな星空を見よう	太陽や月、星の動きを学ぶ	

令和4年度実績：延べ 51校・団体 2, 419名

○丹南地区周辺体験編

施設名	プログラム名	主な内容
福井県立鯖江青年の家	葉脈のしおりづくり	葉脈標本をつくり、植物の体のつくりを学ぶ
しらやまいこい館	コウノトリ放鳥の足跡	コウノトリを通して、自然と人との関わりを学ぶ
越前市エコビレッジ交流センター	里地里山エコツアー	坂口地区の豊かな自然や生きものを観察する
八ツ杉森林学習センター	自然の色・草木染め体験	自然の材料を使った草木染めを体験する
	火おこし体験	火おこし器を使って火おこしを体験する
森の学び舎（悠久ロマンの杜）	森林教室	森林および林業について学習する
越前町立福井総合植物園プラントピア	植物観察	四季折々で変化する植物の様子を観察する
越前和紙の里パピルス館	紙すき体験	伝統工芸品である「越前和紙」を手すきする
福井県陶芸館	陶芸教室「手ひねりコース」	歴史ある「越前焼」を製作する
うるしの里会館	うるしの里「絵付け体験」	「越前漆器」の絵付け体験をする

令和4年度実績：延べ 296校・団体 11, 435名



どんぐりアート



野鳥観察をしよう

⑤研究員講座の提供

□出前講座の開催

研究員等が積極的に地域や小中学校に赴き、出前講座を開催

令和4年度実績：11回講座開催 448名受講

【研究員による出前講座】 9回 405名受講

No.	開催日	内容	相手方	開催場所	人数	研究員
1	R4. 4. 24	三方五湖における自然護岸再生の取り組み紹介	一般	若狭三方縄文博物館	30	宮本
2	R4. 6. 22	美方高校探究プログラム	美方高校1・2年	三方青年の家	29	石井 樋口 宮本
3	R4. 7. 12	ゆりかご田の植物の授業	三方小学校5年	三方小学校	19	石井
4	R4. 7. 28	ゆりかご田の魚の計測・放流	三方小学校5年	三方小学校・ゆりかご田	19	石井 樋口
5	R4. 9. 3	ふるさと未来講座「自然科学」	福井ライフ・アカデミー	福井県生活学習館	40	石井
6	R4. 11. 17, R4. 12. 1, R5. 2. 3	伝統漁法「筒漁」の竹筒づくり	三方小学校6年	三方小学校ほか	72	樋口 橋向
7	R4. 11. 18	地域産官学と技術士合同セミナー	一般	三方青年の家	150	樋口
8	R4. 11. 25	民具講座	一般	若狭路文化研究所	21	樋口
9	R5. 3. 18	ゆめおーれ講演会「地域を多様な視点でみるために」	一般	ゆめおーれ勝山	25	樋口

どんぐりアート

【研究事務員・相談員による出前講座】 2回 43名受講

No.	開催日	内容	相手方	開催場所	人数	担当
1	R4. 8. 5	生き物観察会	玉置子ども会	玉置集落内（中川）	21	伊東 高橋ふ
2	R4. 11. 26	生き物観察会	石川県世界農業遺産活用実行委員会	自然観察棟・三方湖畔	22	伊東 澤田 岸本 武田ふ

※ふ…ふるさと研究員



生き物観察会

(3) 実践【次世代につながる持続可能な里山里海湖の保全・再生・活用】

里山里海湖の保全・再生に頑張る地域や団体を応援や支援するとともに、共に活動することで、研究成果を人々の暮らしに活用する仕組みを構築する。

⑥「福井ふるさと学びの森・海湖」

□「福井ふるさと学びの森・海湖」を全県下で展開

県民がより気軽に里山・里海湖に触れ親しめる機会を提供していくため、県内で民間団体等が体験活動を運営する森や海湖を「福井ふるさと学びの森・海湖」として登録

○「福井ふるさと学びの森」における活動

県内の里山を活動場所として、自然体験・自然観察・自然再生の活動に取り組む団体および活動場所36か所(表1参照)を「福井ふるさと学びの森」として登録。新型コロナウイルス感染症予防のため、参加人数を制限したイベントが増加したが、多くの県民が身近な里山を訪れた。

令和4年度実績	イベント開催	延べ	326回
	参加者数	延べ	12,138名

○「福井ふるさと学びの海湖」における活動

県内の海湖(川を含む)において、自然を感じ、学ぶ体験活動および海湖を保全する体験活動を広く県民に提供する5団体(表2参照)を「福井ふるさと学びの海湖」活動団体として登録。福井ふるさと学びの森同様、新型コロナウイルス感染症予防の影響があったが、多くの県民の方が海湖での体験活動に参加した。

令和4年度実績	イベント開催	延べ	132回
	参加者数	延べ	4,173名



(表1)

福井ふるさと学びの森 登録団体および活動場所一覧

登録 番号	学びの森の活動を行う団体・法人名	学びの森の活動を行う場所	
			市町
1	青葉山里山整備の会	高浜町中山地区（青葉山）	高浜町
2	青葉山麓研究所	青葉山麓 （高浜町健康長寿の里およびその周辺）	高浜町
3	あそぼっさ！越前市 ハッピープロジェクトチーム	村国山芦山公園	越前市
4	あわらの自然を愛する会	北潟湖周辺	あわら市
5	えいへいじ緑清会	吉野ヶ岳	永平寺町
6	特定非営利活動法人 エコハウス沙羅	福井市謡谷町	福井市
7	公益財団法人 越前市文化振興・施設管理事業団	八ツ杉千年の森	越前市
8	越前町立福井総合植物園	越前町立福井総合植物園	越前町
9	小原E C Oプロジェクト	勝山市北谷町小原地区	勝山市
10	河和田自然に親しむ会	河和田地区 （中山公園、尾花キャンプ場等）	鯖江市
11	特定非営利活動法人 恐竜のまち勝山応援隊	かつやま恐竜の森	勝山市
12	気比の松原100年構想推進連絡協議会	気比の松原（松原国有林）	敦賀市
13	特定非営利活動法人 自然体験共学センター	上味見地域（ふくい森の子自然学校等）	福井市
14	特定非営利活動法人 自然と共に生きる会サンガ	美浜町新庄地区 （雲谷センター、溪流の里、赤坂山等）	美浜町
15	清水竹拓行務店	福井市清水東地区 （清水町、小羽町、和田町、清水杉谷町等）	福井市
16	特定非営利活動法人 森林楽校・森んこ	おおい町名田庄納田終老左近	おおい町
17	田倉川と暮らしの会	南越前町古木（古木地区） （アカタン砂防堰堤周辺）	南越前町
18	谷の山を愛する会	勝山市北谷町谷地区のブナ林 （奥越フットパスコース）	勝山市
19	291の森保全の会	福井市美山町芦見地区	福井市
20	ノーム自然環境教育事務所	大野市南六呂師 （ハックルベリーの森）	大野市
21	東っ子自然たんけん隊	福井市竹生町 （ヨッシーの森およびその周辺）	福井市
22	福井市	足羽三山（八幡山、兔越山、足羽山）	福井市
23	ボーイスカウト福井2団	池田町清水谷（清水谷キャンプ場）	池田町
24	株式会社 まちUPいけだ	池田町志津原 （ツリービクニックアドベンチャーいけだ）	池田町
25	株式会社 マルツ電波	坂井市丸岡町山竹田 （マルツの森）	坂井市
26	特定非営利活動法人 三国湊魅力づくりPJ	坂井市三国町陣ヶ岡 （ラーバンの森およびその周辺）	坂井市
27	森の楽校とようちえん「ぼてころころ」	福井市朝谷町（木ごころの森）	福井市
28	特定非営利活動法人 森のほうかごがっこう	坂井市丸岡町山竹田 （たけだ風の谷プレーパーク）	坂井市
29	蝸の里くらぶ	高浜町中寄区（牧山周辺）	高浜町
30	特定非営利活動法人 WACおばま	小浜市上根来地区	小浜市

登録番号	学びの森の活動を行う団体・法人名	学びの森の活動を行う場所	
			市町
31	さとやま子育てコミュニティいけだのそら	池田町野尻地区	池田町
32	にじいろずっく	福井市角原町、生野町	福井市
33	森のようちえん風のいろ	永平寺町東古市（永平寺・自然に学ぶ森）	永平寺町
34	こどもの森運営委員会	坂井市丸岡町竹田地区 （木育ガーデンプレイ、スタディ）	坂井市
35	塩 JOYLIFE 協会	福井市八ツ俣町、越前町血ヶ平・梨子ヶ平	福井市 越前町
36	井ノ口の里山をまもる会	若狭町井ノ口	若狭町

(表2) 福井ふるさと学びの海湖 登録団体および活動場所一覧

登録番号	学びの海湖の活動を行う団体・法人名	学びの海湖の活動を行う場所	
			市町
1	越前松島水族館	水族館前の海岸（三国町崎）	坂井市
2	おおいビーチクラブ	長井浜海水浴場	おおい町
3	一般社団法人 環境文化研究所	日野川（越前市内、鯖江市内）、 足羽川（福井市内）	越前市
4	高浜ブルーフラッグアカデミー	若狭和田ビーチ	高浜町
5	国立若狭湾青少年自然の家	小浜市田島大浜海岸	小浜市

□「福井ふるさと学びの森・海湖」への研究所からの支援

登録団体に対し、イベント広報、安全対策講習、活動用資機材の貸出し、プログラムの提案、専門家の派遣等により活動を支援するとともに、令和元年度から、事業の質や多様性を向上させる取り組みを行おうとする登録団体や、新たに学びの森団体として登録申請を行う団体に対し活動費を助成

○イベント広報支援

ホームページやFacebook での情報発信
季節ごとのイベント案内チラシ（4回）



季節ごとのイベント案内チラシ

○福井ふるさと学びの森 がんばる里山応援プロジェクト

福井ふるさと学びの森で実施する事業の質や多様性を向上させるための取組みに対して、専門家の派遣、助成金等により支援

対象事業例：活動場所の新規拡大、新規体験プログラムの開発、後継者育成等

令和4年度実績：1件

団体名	活動場所	実施内容
えいへいじ緑清会	吉野ヶ岳	荒れた里山を整備し、自然環境改善を目指す。整備の際伐採した樹木は、キノコ育成のための原木とし、発生材の循環を図った



荒れた里山の樹木を伐採



植樹による整備



伐採した樹木でキノコを育成

○福井ふるさと学びの森ネットワーク大会

1. 日 時 令和4年11月25日(金) 10:30~15:00
2. 場 所 さとやま子育てコミュニティいけだのそら(池田町野尻)
3. 参加者 6団体 8名
4. 講師 森のようちえんいけだのそら 園長 酒田 真澄美 氏

5. 開催概要

(1) いけだのそらの紹介やフィールド見学

園長による「森のようちえんとは」「いけだのそらが目指すもの」などについての講演の後、屋外に出て活動場所の説明を受けた。



(2) 焚火を囲んでの意見交換会

参加した団体の方々が、それぞれの課題について意見交換をした。通常の見聞交換会とは異なり、焚火がある事で自然に会話が盛り上がり今後の活動に役に立つ意見交換ができた。



(3) AED講習

福井県医師会のご協力により、AED講習会を開催した。参加した団体の方々も何度か講習会に参加しているが、年に1度くらいは定期的に復習した方が良いとの意見もあり、今後とも講習会の開催を継続していきたいと考えている。



⑦活動者の「やる気」の醸成

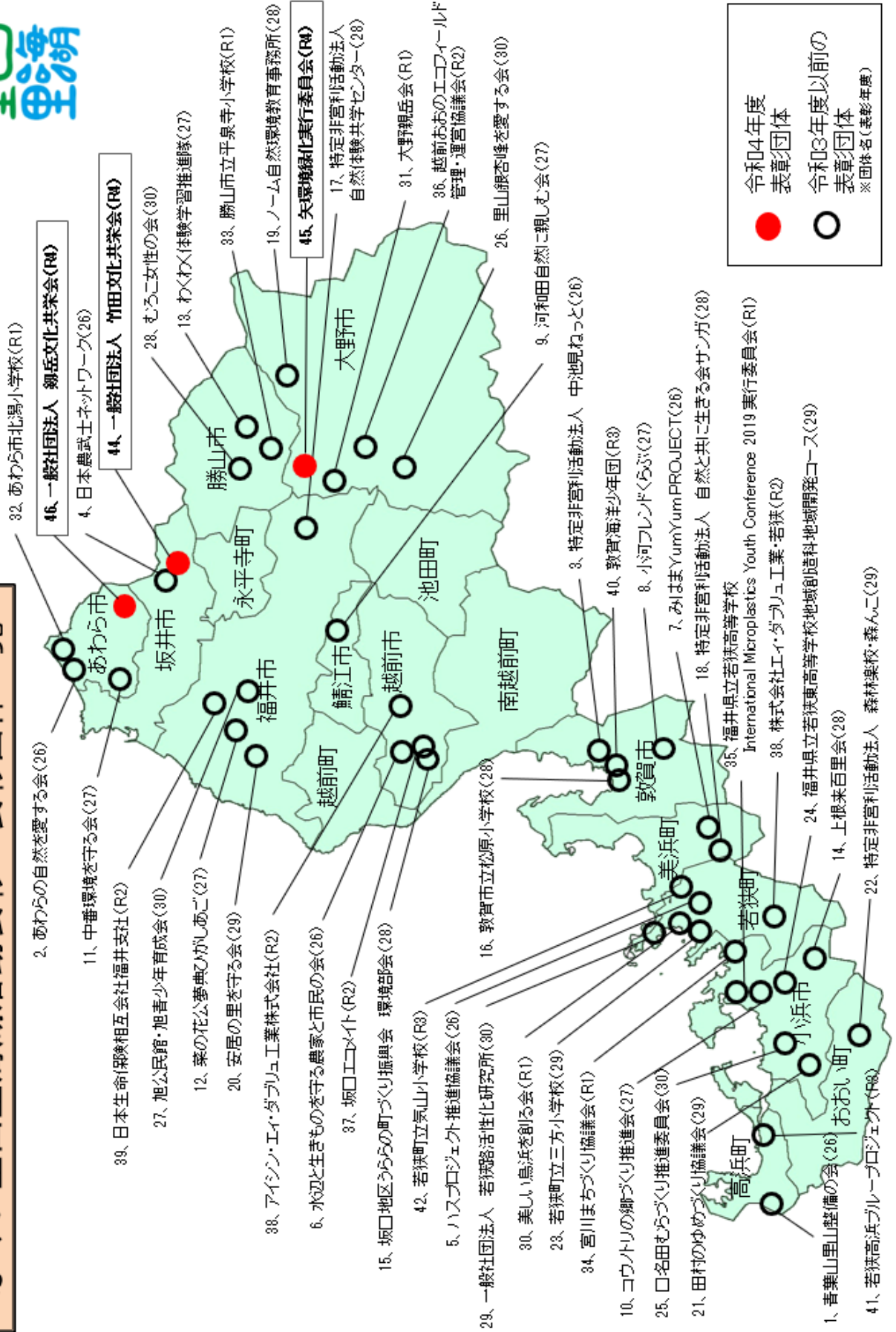
□ふくい里山里海湖活動表彰

保全・再生の活動者を幅広く表彰し、活動を応援
令和4年度実績：3件（3団体）を表彰

表彰団体一覧

<p>一般社団法人 竹田文化共栄会（坂井市）</p>		
<p>里山整備が主な活動だったが、近年は指定管理者として、宿泊施設やキャンプ場の経営などの活動により地域住民を雇用し、里山地域の活性化に寄与している。全国から大学生を受け入れ、地域の課題解決を図る活動や、令和4年度からは子供たちが森の仕事を手伝うと地域のお店で実際に使用出来る地域通貨がもらえる「森のお仕事体験事業」を実施するなど、里山里海湖に関し、先駆的で独創的な活動を行っている。里山の保全活動を経営的手法により、地元住民への収益還元、県内外の交流人口の増加や先駆的な活動を行う事で、更なる発展が見込まれる。</p>		
<p>矢環境緑化実行委員会 （大野市）</p>		
<p>桜の植樹から始めた整備だが、カタクリの群生地を発見したため、それを現在では約3ヘクタールの矢ばなの里として整備した。毎年3月20日から開催される「かたくりまつり」は県外から観光客が多数訪れるようになった。矢ばなの里のカタクリは、里山の斜面に自生・群生しており、この群生地の整備は、里山の保全・整備に繋がる。令和4年度からは矢ばなの里を蝶の生息地としたいと、アサギマダラが好むフジバカマの植栽を始めた。今後は、「矢」という他にはない地名を強みに地区全体を盛り上げようとしている。地元住民の総意により整備を行い、里山を保全しながら観光資源としたことで、地域で一体となった継続的な保全活動が見込まれる。</p>		
<p>一般社団法人 劔岳文化共栄会（あわら市）</p>		
<p>里山整備を中心に様々な活動を長年にわたって行っており、地元の小学校が実施する登山体験などへの支援を通じ、里山の保全や環境教育にも取り組んでいる。近年は、里山サクラ満開事業での植樹活動や、令和4年度からはよみがえる清流プロジェクトにて、イワナやヤマメの稚魚を放流するなど保全活動にも力を入れている。また、立木の伐採やチェーンソーアートの見学会も実施。いずれも、地元の小学生も巻き込んだ活動で、環境教育をしながら継続的に自然保護や自然再生に取り組んでいる。その他にも、地元で行われる祭事に中心となって活動し、地域振興にも尽力している。</p>		

ふくい里山里海湖活動表彰 表彰団体一覧



□ふるさと研究員の認定

ふるさと研究員（農業・文化・環境・観光・民俗・ビジネス）を認定し、単なる技術の伝承だけでなく、その意味合いについても伝承することを目指している。

令和4年度実績：46名認定（1名追加認定）、延べ51回活動

ふるさと研究員 認定者一覧 (R5.3.31現在、50音順)

No.	氏名	市町	主な活動分野
1	青池 豊博	若狭町	樹木の活用（景観、風景づくり）
2	井草 貴男	福井市	自然観察指導、昆虫標本作成指導
3	池上 成志	若狭町	森づくり（森林環境）、きのご観察
4	大石橋 節子	福井市	自然体験活動、森のようちえん
5	大椿 明夫	小浜市	狩猟を通じた自然環境保全、伝統文化の継承
6	大南 新一	あわら市	山野草の保全、クラフト体験
7	萩田 英爾	福井市	農業・農村体験、自然体験活動
8	尾崎 恵里	若狭町	農業・農村体験
9	小澤 聖輔	福井市	里山整備、間伐材の有効利用
10	尾花 幸次	おおい町	竹細工、森林整備
11	加藤 豊純	坂井市	伝承料理、クラフト体験、着付、フラワーアレンジメント
12	笠原 英夫	福井市	きのご観察（野生きのご同定・解説等）、きのご栽培技術指導
13	川崎 隆徳	あわら市	環境学習支援
14	河田 勝治	あわら市	山野草の保全、史跡探訪、竹細工、地引網体験、農業体験
15	小嶋 明男	若狭町	探鳥会、水辺の生き物観察会等の指導、生態系学習講師
16	小林 しのぶ	福井市	自然体験活動
17	小松 晴夫	南越前町	里地里山の地域づくり
18	近藤 邦憲	あわら市	山野草の保全、クラフト体験
19	坂本 均	大野市	自然体験活動
20	坂本 道子	大野市	自然体験活動
21	櫻井 知栄子	福井市	環境保全、森のなりたち、山・川・海の流れ
22	高橋 繁応	若狭町	野鳥観察、環境学習、生きもの調査、水月湖年縞の解説
23	田川 亨	敦賀市	野鳥観察における解説
24	武田 真澄美	美浜町	野鳥観察、自然再生活動、環境学習・生きもの調査、餅つき
25	多田 憲市	福井市	里地里山の地域づくり
26	田中 裕治	南越前町	木工クラフト体験
27	辻 義次	若狭町	野鳥観察、三方五湖の歴史、地質変化・活断層の解説
28	鳥居 直也	小浜市	自然体験活動
29	永野 千太郎	高浜町	竹林整備、竹の有効活用
30	夏野 宣秀	福井市	獣肉の有効活用
31	西尾 佳之	福井市	自然体験活動
32	野村 みゆき	越前市	農業・農村体験、伝承料理、伝統文化、田んぼでの環境学習
33	萩原 茂男	おおい町	自然体験活動、林業体験活動
34	林 昌尚	越前市	自然体験活動、自然体験活動者への指導（ネイチャーゲーム）
35	日野岡 金治	越前市	自然体験活動、木育活動
36	福嶋 徳美	鯖江市	自然体験活動、里の暮らし
37	福地 志穂美	敦賀市	自然の恵みを活かした料理・工作・暮らし体験
38	福地 伸二	敦賀市	竹を利用した遊び、端材を利用した工作
39	福地 久子	敦賀市	竹を利用した遊び
40	藤原 一功	福井市	里山整備、木工クラフト体験
41	細川 和朗	福井市	自然体験活動
42	堀 孝敏	おおい町	野鳥観察における解説
43	水谷 弘則	敦賀市	竹を利用した遊び
44	山本 仁	福井市	里山・地を利用したウメ栽培体験、かや田等の保全活動体験
45	吉田 良三	若狭町	湖の伝統漁法
46	吉村 義彦	若狭町	農業体験

⑧保全・再生活動を支援

□資機材の貸出し

保全・再生活動や薪生産作業等に必要な資機材を無償で貸出し

○貸出資機材

<福井地区：県森林組合連合会> ウッドチップパー 2台、薪割り機 2台、組立式炭化炉 4台
<丹南地区：(株)コープ武生> ウッドチップパー 1台、薪割り機 1台
<嶺南地区：里山里海湖研究所> ウッドチップパー 1台、薪割り機 1台、組立式炭化炉 2台

○貸出実績

	福井地区	丹南地区	嶺南地区	計(延べ)
ウッドチップパー	23	15	5	43
薪割り機	8	3	4	15
組立式炭化炉	0	0	0	0
計(延べ)	31	18	9	58

<利用者の声>

- ・馬力があるため、太めの枝でもチップ化でき、非常に有用である。
- ・竹、木材の伐採は例年行っているが、効果的な処分方法が無く蓄積する一方だったので、このように容量を劇的に減らすことができるのは大変ありがたいと思う。
- ・雑木や孟宗竹をチップパーで処分しているが、チップパーのおかげで竹などの体積が減り大変うれしい。

⑨県民の皆様へお知らせします

⑦のふるさと研究員および⑧の資機材については、県民の皆様原則無料でご利用いただけます。それぞれ以下の点に注意していただき里山里海湖研究所に申請いただくと、調整のうえご連絡させていただきます。

なお、希望日が他の希望者と重なった場合、早期の予約を優先させていただきます。このため、ご要望に沿えない場合がありますので、ご了承ください。

ふるさと研究員の出張講座

県内の小中学校や保育園、活動団体等における出張講座を行います。ご希望の方は、里山里海湖研究所まで、電話またはメールにてお問合せください。ご希望の内容に沿ったふるさと研究員を、ご希望の会場に派遣します。

資機材の無料貸し出しの手続き方法

- ①里山里海湖研究所に、電話にて機材の空き状況をお問い合わせください。(希望日の3ヶ月前から予約可能)
- ②申込書と使用場所位置図を、利用希望日の10日前までに提出してください。メール可。
- ③活動実施後30日以内に、活動報告書を提出してください。

利用にあたっての注意点や申込書様式、活動報告書様式は里山里海湖研究所のホームページに掲載しています。

さらなる詳細につきましては、<https://satoyama.pref.fukui.lg.jp>の資機材貸し出しのページをご覧ください。

なお、資機材を使用するための燃料代、運搬代、使用中の破損による修繕費は別途必要になりますのでご了承ください。


⑩研究員の研究成果を実践活動に展開

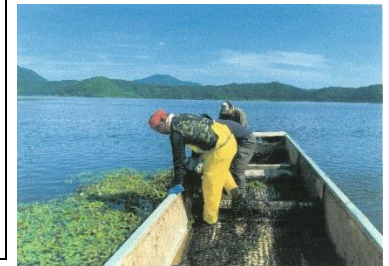
□三方湖のヒシ対策事業

三方湖に繁茂するヒシにより、水中の貧酸素化による生態系への悪影響、漁業の航路阻害や漁場の消失、湖岸に堆積するヒシの枯死体から発する悪臭などの被害が発生

これらを解消するために、研究員が開発した経済的に安価で高度な専門的技術が必要とせず、効果的にヒシを刈り取ることでできるワイヤー刈りの手法により、平成30年度から令和4年度の5年間集中的にヒシの刈取りを実施

令和4年度実績

期間	6月9日～8月10日
刈取り面積	63.4ha
回収量	111.2t
刈取りエリア	



□なぎさ護岸の造成事業

三方五湖自然再生協議会が研究員の研究成果を活かして「自然護岸再生の手引き」を作成
これに基づき、県や若狭町、美浜町が実施する河川しゅんせつ工事等で発生した土砂を、同一流域である三方五湖のなぎさ造成工事に利用

令和4年度施工実績

実施時期	場所	面積	施工者
令和4年11月	水月湖（海山）	約740㎡	若狭町建設課
令和4年12月	三方湖（鳥浜）	約540㎡	若狭町建設課

□三方五湖の持続可能な地域づくり連携事業

日本農業遺産にも認定された三方五湖の伝統漁法は、漁師の高齢化、後継者不足、水産資源の消費量減少などの要因があり、存続が危ぶまれている

その解決方として、フナの需要拡大を目指した商品（フナの干物）開発を鳥浜漁業協同組合、若狭高等学校と共同で行う

令和4年度は、缶詰に使用したフナのアラの活用を目指した取り組みと、新たにフナとコイの身を乾燥させた商品の開発に取り組んだ

令和4年度実績

開発期間	令和4年6月～令和5年2月
試作回数	7回（37種類）



⑪来所者向け体験メニューの提供

1 常時提供

野鳥等の自然観察、松ぼっくり工作、ロマンパークで見ることのできる草花・樹木の花粉観察など

2 特別企画

(1) 竹細工を楽しくつくろう！ (6/11)

竹の持つよさを感じながら、バランストンボや竹トンボを作る。

里山里清 体験講座 要予約

6/11 (土) 竹細工を楽しくつくろう!

9:00~12:00 (受付 8:30~)

講師 尾花 翠澄さん (ふるさと研究員)

定員 50名 (小学生、小学生以下保護者同伴)

参加費 1セット500円内 (材料代)

持ち物 50円以内の現金またはお札

持ち物 竹を削ることができる服装

持ち物 草子

場所 羅漢堂ロマンパーク体験館 (この夏年の森とふり)

集合 三方港の集会所

日本と竹のつながりは古く、島根県産から竹や竹でせようをつけた土器が出土しています。竹が思いよく成長するこの時期に、竹細工で竹の持つよさを体験してみませんか。

6/19 (日) ウメ博士になろう!

9:00~12:00 (受付 8:30~)

講師 山本 仁志さん (ふるさと研究員)

講師 美奈子さん (上野農林部)

定員 10名 (小学生、小学生以下・ウメ博士体験館同伴)

参加費 1セット500円内 (材料代、梅シロップ材料代)

持ち物 梅を洗える袋、梅シロップを入れる容器

持ち物 梅シロップを作るための材料

場所 新浜町田井の梅園、梅加工体験施設

集合 新浜町社会福祉会 5階の総社室 (三方上中郡新浜町2-4-2)

※申し込みの多い場合は先着順とさせていただきます。

梅園では江戸時代から「ウメ園遊」が営まれています。この期間にだけ味わうことができる見物です。そのほか「梅園めぐり」のシロップ作りも体験してみませんか。

申込・問い合わせ

里山里清事務局

三方上中郡新浜町122-12-1

TEL: 0770-45-3580 (平日)

0770-45-3581 (土日祝)

E-MAIL: sanchi@amao.gr.jp

※新型コロナウイルスの感染状況により、イベントを中止する場合があります。マスの着用やソーシャルディスタンスの確保など、感染防止にご協力ください。また、休園のする場合は別途ご告知させていただきます。お問い合わせはご遠慮なくお願いします。

(FAX用申込書) FAX 0770-45-3580

お名前	お申し込み人数 (人数)	性別
お名前	お申し込み人数	性別
ご住所	年齢	性別
電話番号	年齢	性別



(2) ウメ博士になろう！ (6/19)

梅園でふるさと研究員から梅に関する知識を学び、梅拾いを行った後、梅加工体験施設で梅シロップを作る。





(3) 森の工作 (10/9)

縄文ロマンパークで行われた「若フェス」に出展した。松ぼっくりやどんぐり等を使ってクラフト体験を行う。



(4) 縄文ロマンパークで親子どきどきわくわく体験教室 (11/27)

若狭三方縄文博物館と共同で開催した。縄文ロマンパークを散策し、クラフト体験を行った後、竪穴住居で焼いた焼き芋を持ち帰る。



第3回 福井県山里海湖研究所 若狭三方縄文博物館
秋のコロナ企画

若狭町 クイズに答えながら、自然を満喫!
縄文ロマンパークで
親子どきどき体験
わくわく教室

ネットクラフト!
まつぼっくり・どんぐり
小石・小石を使って
自由にクラフト体験。
感想や好きな作品を
作りましょう!

令和4年
11月27日(日)
9:30~12:00
9:00より受付開始

集合場所
縄文博物館 講座室
・募集定員:8組 対象:小学生(保護者同伴)
・参加費:1人200円
(材料費150円+参加費50円)

縄文時代の暮らしを
楽しく学ぶミニミニ講座
もあります。

縄文ロマンパークを散策し、クイズに答えて
竪穴住居で焼いたサツマイモと交換しよう!
協力:縄文博物館 DOKIDOKI会

お申込・お問い合わせ 福井県山里海湖研究所
三方上中郡若狭町島原122-12-1

TEL: 0770-45-3580(平日のみ)
時間: 8:30~17:00
メールアドレス: satoyama@pref.fukui.lg.jp

<FAX用申込書> FAX 0770-45-3680

★発行部数の超過をしますので、日中に連絡可能な電話番号まで記入ください。電話・Eメールでも受付可。

お名前 (代表者)	よりお名	お申し込み人数 (同席)	大人	小学生	未就学児	合計	人
ご住所	〒						
代表者の携帯電話 (日通番号からご記入)	-	-					

※新型コロナウイルス感染症の発生により、イベントを中止する場合があります。マスクの着用やソーシャルディスタンスの確保など、関係者に協力を願っています。

□共催・協力事業

開催日	事業名	内容	対象	人数	主催
R4. 9. 23-25	わくわく体験塾	自然観察	県内外 小中学生	23	「体験の風をおこそう」 運動推進実行委員会

□出展イベント

開催日	イベント名	内容	対象	主催
R4. 11. 13	クラフトマルシェ	森の恵み工作	一般	国立若狭湾青少年自然の家

□視察等受入れ

実施日	内容	来訪者	人数
R4. 7. 21	自然観察棟取材受け入れ (企画展「寒ぶな缶ができるまで取材」)	福井新聞	1
R4. 12. 17	三方五湖の紹介	琵琶湖こどもラムサールクラブ	14
R4. 12. 27	野鳥観察(三方青年の家事業「ウインターチャレンジ」)	「ウインターチャレンジ」参加者	11



クラフトマルシェ



琵琶湖こどもラムサールクラブ